般 問

武男 (日田市)

施設対策を! 早急な太陽光発電 羽野

観、②発電施設の倒壊・飛散等、 ブルも増加している。 大に伴い全国的に住民とのトラ 【質問】太陽光発電施設の設置拡 トラブルの原因は主に、 ① 景

切な対応が必要となる。 廃止等に対する事業者による適 法等に基づく対応が考えられる は、景観法や森林法、急傾斜地 けではない。加えて、今後は、老 わ化した施設の維持管理、 このようなトラブルに対して 全ての施設に適用できるわ 規制区域の指定や施設の規 法の遡及適用等の課題があ 、また、

理、撤去・廃棄について、適切な 対応を求めているケースも見受 ンで発電設備の設置や維持管 他県では、条例やガイドライ

題について、見解を伺う。 本県の取組の現状と今後の課

> 【答弁】太陽光発電所について 施設を拡大した。 面積要件を改正し、 環境影響評価条例の 対象となる

反射光対策等への配慮を求めて の中で景観や廃棄の他、濁水や ついては、環境影響評価手続き 施設の維持管理・更新、廃止に

得るように指導している。 会等を通じ、地域の理解を十分 加えて、条例の対象規模未満 事業の内容については、 説明

慮を行うよう事業者に求めてい の発電所についても、県の指針 に基づき、自主的に環境への配

③土砂災害、

④反射光、などが

の遵守を求めている。 消も想定されている。県として 対しては、国の指導や認定の取 施を国が確認している。違反に おり、発電事業の円滑・確実な実 措法上の計画認定基準となって 体制などについては、再エネ特 また、発電施設等の維持管理 事業者に対し各所関係法令

るので、その動向を注視してい 庁横断的な検討が進められてい 本年4月から、国において省

年にガイドラインを策定し、適 切な保守管理などを求めてきま 【羽野】環境影響評価条例も制定 ている山梨県では、2015

惧する相談が市町村に寄せられ 森林伐採や土砂災害の発生を危 したが、強制力がなかったので、

4月から施行されています。 べてに拡大する条例改正を行い ぐ規制対象から発電出力を外し 民とのトラブルが起こったらす る条例を制定。その後、 適正な設置及び維持管理に関す 光パネルを対象に、昨年7月に て、野立ての太陽光発電施設す 出力10 巛未満の施設で、地域住 そのため出力10以上の太陽 他県で、

般 問

肇 (臼杵市)

の福祉保健

教育政策を問う

今取り組んでいる「おおいた高 を過ごせる社会の実現に向け、 事は、認知症になっても地域の 県の条例制定を含めた今後の取 例化をしたことを引き合いに、 臼杵市が昨年9月に認知症の条 員として自分らしく日常生活 組みについて質しました。知 今後の認知症施策について、

> 討と答えました。 進めるとして、「条例化は今後検 齢者いきいきプラン」をしっかり

願いしました。 で安価に宿泊できるファミリー 要望として、家族が病院の近隣 に努めると回答しました。強い 心して治療に臨める環境づくり じながら、子どもや保護者が安 りごとや個別の相談に丁寧に応 と、その支援について見解を質 ハウスの設置を検討するようお い入院する家族の負担の現状 しました。福祉保健部長は、 次に、子どもの入院に付き添

ことを認め、「国レベルでの見直 対応できる休暇制度についても を要望しました。 員が安心して休める制度の検討 がいつ長期入院となっても、 ではそのような休暇制度はない 質問しました。教育長は、 しを注視したい」と回答。子ども また、子どもの長期入院時に 現状

答えました。しかし、今回も前回 正確な情報提供を行っていると 通さず市町村から直接対象者に と同様に、一部では学校を通じ接 ました。福祉保健部長は、学校を と、接種の勧奨が学校現場を诵 確認しその趣旨を徹底すること ついては、希望制であることを して行われていないかを質問 子宮頸がんワクチンの接種に

ています。対処を求めました。 種の資料等が配布されたと聞い

り縮小・廃止」という県の基本ス 事にお願いしました。 の拡大を許さない取り組みを知 タンスを忘れることなく、訓練 射撃訓練について、「将来にわた その他、日出生台の米軍実弾

を質しました。 持つ教職員数は足りているのか の検討と、特別支援教育につい 服について私服を含めた選択制 て特別支援学級の数や専門性を 教育関係では、県立高校の制

必要がある」と答えました。 り応えている」とし、教職員につ 級については、「要求に可能な限 切」と回答しました。特別支援学 護者が話し合っていくことが大 登校の許可は、学校と生徒、 いても「早急に専門性を高める 教育長は、私服について「私服

求めました。 細りになる」と訴え、その改善を のにしないと、大分の教育は先 善し、若い人が教育現場を職場 として選びたくなる魅力あるも 改革が進んでないことをあげ、 過酷な働き方を一刻も早く改 最後に、学校現場での働き方

